



# HIROSAKI SOMA SUPPORT CREATOR

「関わる」が  
クリエイティブになる。

## 地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊とは、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、  
地域外の人材を積極的に受け入れ、  
地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、  
意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。

応募前にぜひ  
ご参加ください

お試し協力隊  
事前説明会  
オンライン  
2026 THU.  
2/26  
18:30~

お試し  
協力隊  
2026 FRI. SUN.  
5/8~10

地域おこし協力隊  
応募締切  
2026 mon.  
5/25

## CHALLENGE

スキルより、実績より、やってみたいの好奇心。

あおもりけんひろさきしとうまちく

青森県弘前市相馬地区では、

地域の資源を活かして、誰かの挑戦を支える仲間を **2** 名 募集します

りんご、炭炭、紙漉き。相馬には豊かな資源と、「これを活かしたい」と願う地域の人たちがいます。  
けれど、人手不足や孤独感から、あと一歩が踏み出せない……そんな誰かの「やってみたい」を支え、  
カタチにし、地域の伝統や文化を未来へつなぐ。たくさんの人と関わることがクリエイティブになる。  
特別なスキル、実績はいりません。あなたの好奇心で、相馬の「やってみたい」を動かしてみませんか？  
任期は最長3年。家賃補助や進路サポートも充実しています。  
この場所での経験を、あなたの新しいキャリアに。

応募は  
こちらから



【問い合わせ】  
〒036-8551

青森県弘前市大字上白銀町1-1  
弘前市企画部企画課 人口減少対策担当  
TEL:0172-40-7121(直通)  
E-Mail:kikaku@city.hirosaki.lg.jp

# 地域おこし協力隊 活動記 Vol.121

厳しい冬を超え、暖かい春の兆しを感じられるようになってきました。もつすぐ春ですね。春といえば、出会いと別れ。私（穂坂）は3月31日をもって、任期終了となります。

去る2月15日、「卒業感謝&報告会」を実施し、これまでの活動内容とお世話になった感謝の気持ちをお話させていただきました。足元が悪いなか、地区内外から70名の方に参加していただきました。30分の報告時間があつたわけですが、話し足りませんでしたが、報告会に来られなかった人にも別のカタチで報告出来たらなあ……ということと、「活動プロセス事例集」という冊子を作成しました。「何をしたらか」という事例だけでなく、「どうやったか」というプロセスも記述しています。協力隊の活動を見てい



て、自分でもやってみたいと思うことがあるようでしたら、参考にしてください。できればと思います。また、上手くいかなかったこと、失敗したことも書いていますので、反面教師としても活用いただけるかと思えます。相馬地区公式HPにて公開中です。

移住と転職がともなう地域おこし協力隊。慣れない地で、未経験の仕事をするということと、大変なこともありました。でも、総じて楽しかったと言える3年間であったのは、話しかけてくれたり、おすそわけをくれたり、一緒に何かに取り組んでくれたりした地域の方がいたからです。また、活動をアシストしてくれた応援協議会のみなさん、活動を見守ってくれた相馬総合支所の職員のみなさん、とりわけ担当者として支えてくれた裕美さんがいたからです。そして、年が離れた凸凹コンビとして共に活動してきた加賀さんの存在があったからです。感謝申し上げます。



←詳しくはコチラ

げます。本当にありがとうございました。

なお、今後につきましては、諸事情あり1年ほど中国と中東、アフリカにいますが、帰国後は弘前に戻ってきて、教員採用試験（小学校）を受け、教員として働く予定です。また、自分にとっての課題もできたので、社会人枠で弘大大学院に通いたいとも考えています。普通のサラリーマンになるので、協力隊時代のようにフツ軽で柔軟に駆けつけることは難しくなりますが、沢田ろっそくまつりやお山参詣をはじめとした行事や応援協議会（もしかしたら農村RMOになっている？）には関わり続ける所存ですので、引き続きよろしくお願いいたします。

P.S.  
現在、我々の後任（5期生）の協力隊を絶賛募集中です。都会に出た親族やお知り合いで、興味のありそうな方がいましたら、ぜひご紹介ください！

(\* 相馬地区公式HP (<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/soma/>))

